

。効率的・効果的な海岸事業の推進

1 <活力ある社会・経済の実現に向けた重点4分野>への重点化

経済財政諮問会議で示された基本方針に沿い、政策効果が著しい分野についてより一層の重点化を図る。

- ・個性と工夫に満ちた魅力ある都市と地方
- ・人間力の向上・発揮—教育・文化、科学技術、I T
- ・公平で安心な高齢化社会・少子化対策
- ・循環型社会の構築・地球環境問題への対応

●重点分野別の内訳

(単位: 億円)

重 点 事 項	平成16年度 予算(案)	平成15年度 (当初)	対前年度比
個性と工夫に満ちた魅力ある都市と地方 ・東南海・南海、東海地震等大規模地震対策の推進 ・臨海部人口集積地の海岸災害に対する安全確保 ・海岸災害の危険が特に高い地域における防護水準の確保 ・地域住民、NPO等との連携強化等地域と一体となった海辺の創造 ・海辺の美しい景観や文化資源の保全・創造	340 (204) 70.5%	303 (174) 56.4%	1.12 (1.17)
人間力の向上・発揮—教育・文化、科学技術、I T ・津波・高潮防災ステーション等による海岸防災機能の高度化	18 (9) 3.2%	18 (10) 3.1%	0.98 (0.98)
公平で安心な高齢化社会・少子化対策 ・海岸のバリアフリー化等少子・高齢化に対応した快適な海辺の実現 ・災害弱者対策の推進	8 (4) 1.5%	16 (7) 2.4%	0.53 (0.58)
循環型社会の構築・地球環境問題への対応 ・海辺の自然環境の保全・創造	25 (12) 4.3%	113 (52) 16.8%	0.22 (0.24)
重 点 分 野 計	391 (230) 79.5%	449 (242) 78.7%	0.87 (0.95)
そ の 他	118 (59) 20.5%	126 (66) 21.3%	0.94 (0.90)
合 計	509 (289)	575 (308)	0.88 (0.94)

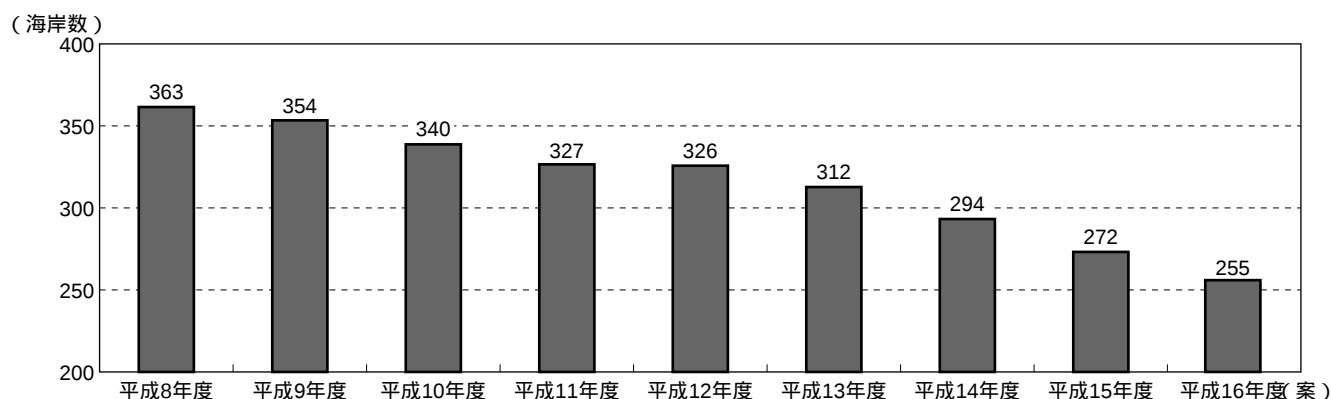
注1) 数値の上段は事業費、中段()内は国費、下段はシェアを記す。なお、シェアは国費ベースである。

2) 四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

2 事業実施海岸数の絞込みによる重点化

新規着工海岸については国土保全上の緊急性・重要性の高いものに限定するなど事業実施海岸数の絞込みを行い、集中的・重点的な投資により海岸整備の事業効果を早期に発現させる。

●海岸事業実施海岸数の推移



3 コスト縮減対策への取組み

(1) コスト縮減による整備効率の向上

「国土交通省公共事業コスト構造改革プログラム(平成15年3月)」に基づき、厳しい財政事情の下、効率的な海岸事業を進めていくために事業実施に際しての時間管理概念の徹底を行うとともに、経済的な侵食対策を行う渚の創生事業等による工事コストの低減や面的防護方式によるライフサイクルコストの低減などを積極的に行うことにより海岸工事に係る総合的なコスト縮減を推進する。

(2) 海岸保全施設データベース構築や性能評価による既存ストックの有効活用

海岸保全においてライフサイクルコストの低減やハザードマップなどのソフト施策が求められている中、これらの施策を効率的に実施するために、防護・利用・環境の多岐に渡る海岸の情報の統一的・一元的・有機的な管理・活用が可能となる海岸データベースのシステムの構築及び同システムを活用した既存施設の性能評価を進めていく。

4 重点計画の本格的展開に伴う融合・連携事業の推進

社会資本整備重点計画目標を達成するため、余剰堆積土砂の海岸侵食箇所への投入による砂浜の復元など、海岸事業と他事業との連携を強化することにより各事業の効果の総合化・複合化を図り、効率的・効果的な事業の実施を推進する。